

全国大学書写書道教育学会 第41回(武蔵野)大会シンポジウム

学校教育と文字文化

日時：令和8年9月13日(日) 14:20～16:20

会場：武蔵野大学武蔵野キャンパス 1102 教室

(東京都西東京市新町一丁目1番20号)

<概要>

平成29年学習指導要領では、広く「文字文化」という枠組みの中で書写書道教育の営みを捉え直すことが、改訂の要点の一つとなりました。

昨年度、本学会が開催した「第40回記念(信州)大会」の公開ラウンドテーブル「手書き文字と書写書道教育の展望」において、「文字文化～文字の文化と文字を書く文化～」と題したテーブルを設け、参加者による充実した意見交換がなされました。主に、「文字文化」の二面性を理解し、こうした概念が重視される背景や理由などをもとに、書写書道教育を通して「文字文化」の教育をどう創造していけばよいか自由な議論されました。

そうした議論を受け、今回のシンポジウムでは、教育課程のなかでどのように捉え、実践していくのか、その具体について議論することとしました。学校教育における書写、書道の視座からどのような指導が考えられるか、具体例を聞き、充実した意見交換を行いたいと思います。

実践報告 – 文字文化に関わる指導の実際 –

実践報告： 達富悠介（青山学院中等部教諭）
松原直也（東京学芸大学附属高等学校教諭）
小林比出代（信州大学教授）

ディスカッション

登壇者： 達富悠介（青山学院中等部教諭）
松原直也（東京学芸大学附属高等学校教諭）
小林比出代（信州大学教授）
平田光彦（武庫川女子大学教授）

コーディネーター：青山浩之（横浜国立大学教授）

主催：全国大学書写書道教育学会
後援：東京都教育委員会 西東京市教育委員会